

◎エポエチンアルファ BS 注シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 エポエチン カップ（遺伝子組換え） Epoetin Kappa（Genetical Recombination） 【分類】 エポエチンアルファ後続製剤

【単位】 ◎750・◎1500・◎3000 国際単位/Syr

【常用量】 750～300 国際単位×3/週

【用法】 HD 後に緩徐に静注

【透析患者への投与方法】 添付文書のとおり (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 適用されない (1)

【特徴】 エポエチンアルファのバイオシミラー。分子量が約 28000 と小さく、糖鎖がエポエチン α に比べて少ない可能性がある。

【主な副作用・毒性】 高血圧、赤芽球癆、高 K 血症、ショック・アナフィラキシー様症状、頭痛、好酸球増多、肝障害、消化器症状、皮膚症状など

【tmax】 12.5hr [sc] (1)

【代謝】 ペプチドに分解される (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 2%未満 (1) 【CL】 0.57L/hr [iv] (1)

【t1/2】 6～17hr [iv] (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 3～8L/man (1)

【MW】 約 28000

【透析性】 資料なし (1) 分子量が大きく透析性は低いと思われる (5) 一部の透析膜には r h EPO と同様に吸着される可能性がある (5)

【更新日】 20220310

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。